



80 日鉄鉦業所 二瀬鉦業所 洞野炭鉦 福岡 二〇〇 二〇〇

81 中央炭鉦 〃 〃 〃 〃 二〇〇 二〇〇

82 鹿町鉦業所 〃 〃 〃 〃 一九七 二〇〇

83 同和鉦業所 花岡鉦業所 〃 〃 〃 〃 一九八 二〇〇

84 〃 〃 〃 〃 〃 〃 二〇〇 二〇〇

85 古河鉦業所 足尾鉦業所 〃 〃 〃 〃 二〇〇 二〇〇

中國人民抗日戰爭紀念館藏
日本強擄中國赴日勞工檔案彙編



92 三菱鉦業所 美唄鉦業所 〃 〃 〃 〃 二八六 二八六

93 〃 〃 〃 〃 〃 〃 二九二 二九二

94 〃 〃 〃 〃 〃 〃 四九八 四九八

95 〃 〃 〃 〃 〃 〃 二二二 二二二

96 〃 〃 〃 〃 〃 〃 一八三 一八三

97 〃 〃 〃 〃 〃 〃 二〇二 二〇二





中國人民抗日戰爭紀念館

国家出版基金项目
NATIONAL PUBLICATION FOUNDATION

沈强 主編

中國人民抗日戰爭紀念館藏
日本强擄中國赴日勞工檔案彙編

56

1

國家圖書館出版社

圖書在版編目(CIP)數據

中國人民抗日戰爭紀念館藏日本強擄中國赴日勞工檔案彙編(全六十冊)/ 沈強主編.
—北京: 國家圖書館出版社, 2014. 9

ISBN 978-7-5013-5439-9

I. ①中… II. ①沈… III. ①日本-侵華事件-華工-史料-彙編
IV. ①K265.606

中國版本圖書館 CIP 數據核字(2014)第 176658 號

書名 中國人民抗日戰爭紀念館藏日本強擄中國赴日勞工檔案彙編(全六十冊)
著者 沈強 主編
責任編輯 王曉 廖生訓

出版 國家圖書館出版社(100034 北京市西城區文津街 7 號)
(原書目文獻出版社 北京圖書館出版社)
發行 010-66114536 66126153 66121313 66175620
66171706(傳真) 66126156(門市部)

E-mail btsfxb@nlc.gov.cn(郵購)

Website www.nlcpress.com→投稿中心

經銷 新華書店
印裝 河北三河弘翰印務有限公司
版次 2014 年 9 月第 1 版 2014 年 9 月第 1 次印刷

開本 889×1194(毫米) 1/16
印張 1953
字數 22500 千字

書號 ISBN 978-7-5013-5439-9
定價 36000.00 圓

第五十六冊

華人勞務者就勞情況調查報告書	第三分冊		一
華人勞務者就勞情況調查報告書	別冊		一三七
強擄中國人事件報告書第一編	中國人殉難者名錄		一六三

昭和二十一年三月一日

華人勞務者就勞事情調查報告書

(第三分冊)

外務省

管理局

華人勞務者就勞事情調查報告書 (第三分冊)

第三部 就勞事情、紛爭及就勞成果

目次

第一章 就勞事情

第一節 勞務配置

一 就勞方針

二 就勞事業場

三 就勞勞務

四 就勞規模

第二節 作業狀況

一 作業率

二 作業實情

第二章 紛爭事情

第一節 指導取扱

一 指導方針

頁

五

一九

二九

二 給與待遇

三 取扱状況

第二節 戰時事件

一 華勞態度

二 事件内容

三 花岡事件

第三節 戰後紛争

一 華勞態度

二 紛争内容

三 紛争被害

四 紛争原因

第三章 移入成果

第一節 作業成果

一 成果概要

二 具體的成果

第二節 使用損益

一 損益概況

二 損益計算

第三節 移入價值

一 戰時價值

二 終戰影響

三 紛爭被害

四 綜合考察

參考資料

第一 事業別就労狀況及成果

第二 移入華人勞務者指導ニ關スル件

第三 移入華人勞務者取締要綱

第四 華人勞務者賃金基準

第五 昭和十九年度華人勞務者給與規定要綱

第六 事業場別主要事件及紛爭概要

第七 終戰後ノ紛爭ニ依ル事業場ノ損害

六三

四三

六八

七〇

八六

九六

九五

一二二

三

第八 事業場別華人労務者使用損益

三五

華人勞務者就業事情調査報告

第三部 就業事情及就業成果

第一章 勞務事情

第一節 勞務配置

一 就業方針

移入華人勞務者就業ノ方針トシテハ凡テ日本人及朝鮮人ト同等ノ取扱ヲナスコト及華人ノ民族性ヲ考慮シ其ノ慣習ニ急激ナル変化ヲ來サシメサルコトヲ取扱ノ根本トシ雇傭主ヲシテ充分ノ同情ト理解ヲ以テ使用セシムル様留意セシメタリ

即チ華人勞務者ノ使用ニ當リテハ先ツ事業場到着後充分ナル休養ヲトラシメ又必要ナル指導訓練ヲ與ヘ可及的ニ供出時ノ編成ヲ利用シ、作業ニ關スル命令ハ日系指導員及華系責任者（把頭又ハ隊長）ヲ通シ之ヲ發シ直接命令ヲ爲ササルコト之カ爲事業場ハ現地ヨリ同行セル日系指導員ヲ華人勞務者ノ直接責任者トシテ連絡世話ニ當ラシムル等又作業中萬一公傷病死等アリタル場合ハ必要ナル救済手段ヲ講スル等之カ就業ニ付萬遺憾ナキヲ期セリ

二 就勞事業場

本邦ニ移入セラレタル華人勞務者三八九三五名ハ第一部既述リ如ク全國事業場一三五ニ配置セラレ各種ノ勞務ニ服シタリ、此等事業場ハ礦業會社（四七事業場）、土建會社（六三事業場）、造船會社（四事業場）及び港運業會（二一事業場）ニ四大別スルコトヲ得ヘク、約半数ハ土建會社ノ事業場ナリ、然レドモ事業目的ヨリ更ニ具體的ニ右事業場ヲ分類セバ左表ノ通り石炭採掘ヲ目的トスル事業場最モ多ク四二、各種鉱石採掘事業場ニ七、港灣荷役事業場ニ五等之ニ次グ、而シテ固有ノ土建作業トシテハ發電所、飛行場、鐵道港灣、地上及地下工場ノ建設、並ニ鐵道除雪ヲ目的トスル事業場ノ六種、其ハ合計三六ヲ算フルニ過キス、即チ土建業者ノ經營セル事業場中ニ七、約四三%ハ鉱業又ハ港灣荷役ノ目的ニ転用セラレタルモノニシテ、ソノ殆ト全部ハ北海道ニ所在ス、此間鉱山ニ就勞セル華人勞務者ノ作業内容ヲ檢スルニ直ニ探炭、探鉱ニ從事セルモノハ事四カノ全般的ニハ土工的補助的勞務ヲ大體含ナリ、斯テ華人勞務者ノ就勞場所ハ事業目的ヨリ見ルハ鉱山管務最モ多キモ、作業ノ性質ヨリ見ルハ寧ロ土建勞務最モ多シ、言ヒ得ヘシハ參考資料第一及報告第一節參照）

七

D 其

他

(二) (五)

造 製

船 鍊

土建會社（北海道）
鉾業會社
造船會社

四 一 四

三 就勞勞務

華人勞務者ヲシテ從事セシメタル作業ノ種別ハ雇傭主ノ産業別ニ依リ一應明カナルカ如キモ前述ノ如ク土建業者ニテ鉾山ニ入レタルモノ二三事業場港灣荷役ニ入レタルモノ四アリ、仍テ華勞ノ作業別ヲ見ルニ八重口事業場ノ事業目的ヨリ見タル方一層明ニシテ右見地ヨリ分類スレバ鉾山（含炭山）六九事業場ニシテ首位ヲ占メ國防土建ヲ目的トスル事業場三六ニシテ之ニ次キ、港灣ヲ目的トスル事業場ハ二五、工業ヲ目的トスル事業場ハ五ナリ

之ヲ全般的ニ觀シバ土建関係ノミナラス鉾山ニ於テモ土工的作業即チ運搬ト口押、掘削掘進等最モ多ク、盛土、剝土、整地等ヲモナシ居リ、坑夫トシテ炭炭採掘作業之ニ次キ、荷役ハ第三位ナリ、其他各事業場共概ネ雜役

ヲ課シ居リ北海道其他ニ於テハ除雪作業ニ從事セシメタルモノ數件アリ。
其他一部農耕ニ從事セシメタルモノアリ、造船製鍊等ニ於テハ工員トシテ
ノ技術ヲ要スル作業ニ從事セシメタルモノアリ、之カ作業内容ヲ分類掲記
スレハ左ノ如シ（參考資料第一参照）

(一) 港湾荷役 — 船内、沿岸及ビ陸上小運送ノ荷役作業

(二) 採鉱 — 採炭、採鉱、採石ノ諸作業

(三) 運搬 — 石炭、鉱石、土砂及資材等ノ運搬、積卸作業ニシテ、トビリ

— モッコ、索道等ノ手段ヲ用フ

(四) 掘進 — 坑道、墜道ノ掘進掘鑿作業

(五) 造船 — 鑄造、鍛造、製錠、木工等ノ諸作業

(六) 切土 — 表土剝離、切土、坑外土取、根掘、伐開等

(七) 骨材採取 — 骨材トシテノ砂利ノ採集、運搬作業ニシテ、コンクリ

ト作業ヲモ含ム。

(八) 盛土等 — 堰堤築造ソノ他ノ盛土作業ニシテ、道路及ビ鉄道路盤ノ建

造ヲ含ム

(九) 除雪

- (一) 整地 — 地内シ作業ニシテ、側溝掘り、芝張り等ノ附帯作業ヲ含ム
- (二) 機械 — 機械及ビ電気ノ取扱、軌道、營繕等
- (三) 運鉱等 — 製鍊ノタメノ運鉱作業ノ外焙焼、焼結等ヲ含ム
- (四) 農耕
- (五) 雜役 — 以上何レノ作業ニモ編入シ難キモノハ雜役トナスモ、尙炊事、舞踊勞務、警備等ノ寮内勞務ヲモ含ム
- 右ノ如ク華人勞務者ノ作業ノ態様ハ種々異ルト虽モ通觀セバソノ作業ハ殆ト全部力單純ナルヲ物ノ運搬ニアルコトヲ知ル、ソノ大部分ハト口押作業ナリ、即チ頭腦或ハ特殊技術ヲ要セザル單純筋肉勞働ナリ、採鉱、掘進ト言フモ、華人勞務者ハ切羽或ハ隧道先端ニ於ケル熟練勞働ニハ從事セズ日人熟練坑夫ニ附従シテ積卸、運搬ヲナス、造船、運鉱等ノ作業ニ於テモ重莫ハ運搬ニアリ、機械等ノ操作ハ極少数ニシテ例外ト看做スコトヲ得
- 「就業勞務ハ苛酷ナラザリシヤ、日鮮人トノ比較如何」ノ問ニ對シ、各事業場ノ報告書ハ筆ヲ揃ヘテ苛酷ナラザリシ旨ヲ強調シ、日鮮人ニ比シ寧口輕易ナル作業ニ就カシメタリト述べアルハ、大体ニ於テ眞実ナルベシ

(一) 受入華勞數

事業場ニ受入レタル華人勞務者ハ事業ノ緊要緩急、完了等ノ理由ニヨリ屢々事業場ヲ転ジタリ殊ニ土建及港灣荷役関係ハ然リトス

今一三五事業場ノ受入レタル華人勞務者ノ數ヲ集計セバ別表ノ如ク五〇、三七九名ナリ、右ハ華人勞務者ノ現地ヨリノ受入實數三八一、一七ト對比シ一六、二六ニ名ガニ又ハソレ以上ノ事業場ニ就勞シタル計算ナリ而テ右ニ依レバ一事業場当リ華勞受入數ハ全國平均三七三名ナルモ個々ノ事業場ニ依リ大小ノ差甚シク、受入數ノ最高ハ港運伏木事業場ニシテ作業日數モ全國最高ヲ示シ、作業延人員ノ最モ大ナル港運門司事業場ト共ニ就勞規模ノ大ナル双壁ヲナス、

又受入平均數ヲ主要業種別ニ比較セバ其ノ間ニ大差ナキモ事業目的別ニ之ヲ見レバ相當ノ開キアリ、即チ鉾山業ニ於テハ九州ノ探炭事業場三八一名ニ對シ各種鉾石採掘事業場ノ平均ハ三三九名、土建業ニ於テハ工場建設ノ五八〇名ヲ最高トシ最低ハ鉄道港灣建設ノ二六一名ナリ、又港灣荷役事業場ハ平均三九六名ニシテ最高ハ曩日本ノ五六五名、最低ハ九州ノ二一三名ナリハ參考資料第一参照)